



九州北部地方 3か月予報（1～3月）の解説

令和7年12月23日14時発表

福岡管区気象台予報課

3か月予報のポイントと留意事項

予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は、冬を中心に低気圧の影響を受けにくいため、**少ない**。
- 向こう3か月の気温は、ほぼ平年並。

留意事項

- 降水量が少ないため、火の取り扱いに注意（冬は平年でも降水量が少なく乾燥する時期。強風時は特に注意）。
- 冬型の気圧配置が強まり、寒気が流れ込みやすい時期がある見込みです。一時的に強い寒気が入って雪となる可能性もあります。最新の予報・気象情報等に留意してください。

九州北部地方の3か月予報（1～3月）

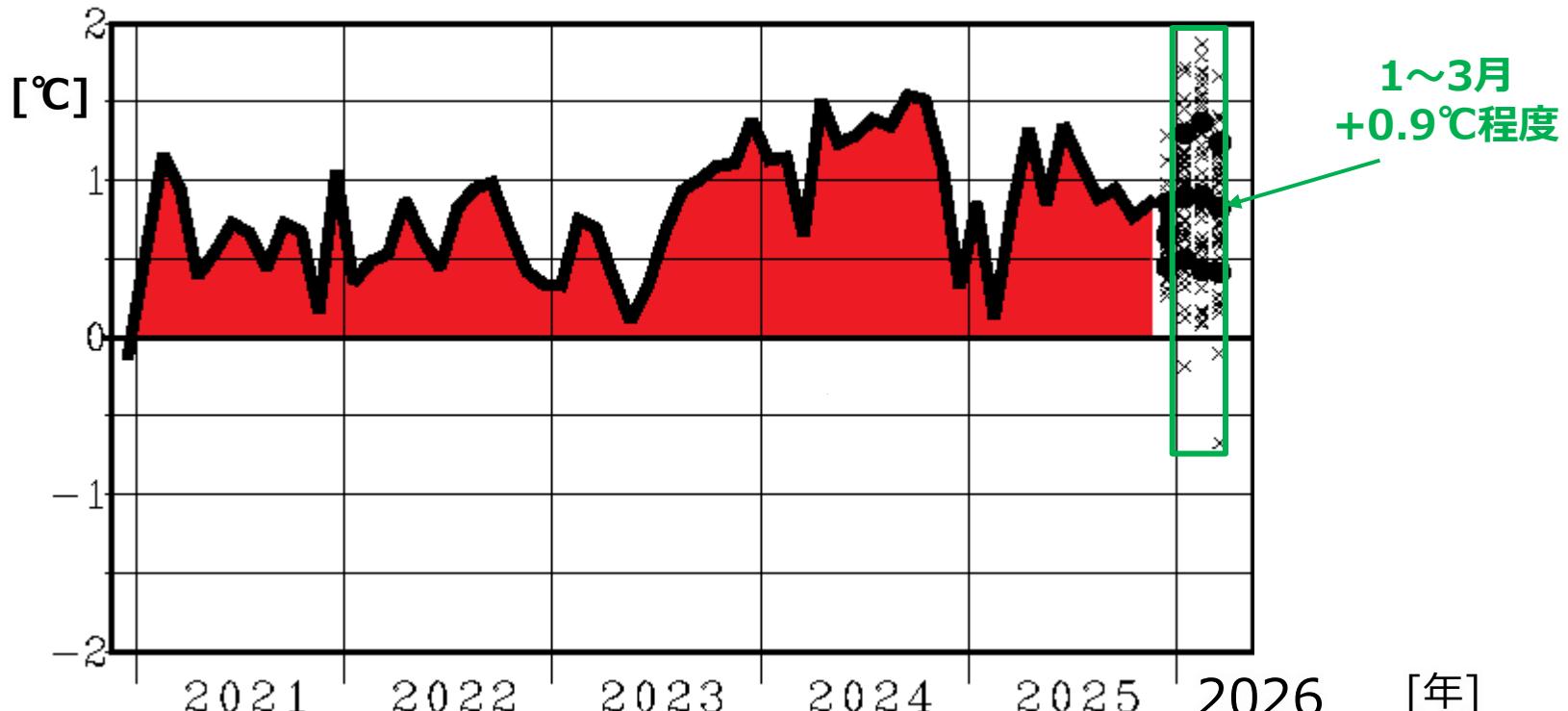
	気温 低 並 高 (%)	降水量 少 並 多 (%)	天候
1～3月	ほぼ平年並 30：40：30	少ない 50：30：20	
1月	ほぼ平年並 40：30：30	平年並か少ない 40：40：20	低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ない。
2月	ほぼ平年並 30：40：30	平年並か少ない 40：40：20	低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ない。
3月	ほぼ平年並 30：30：40	ほぼ平年並 40：30：30	天気は数日の周期で変わる。

前回（11月）発表からの変更点

なし

大気全体の気温の実況および予測

大気全体（北半球中緯度）の気温は
平年より高い状態が継続

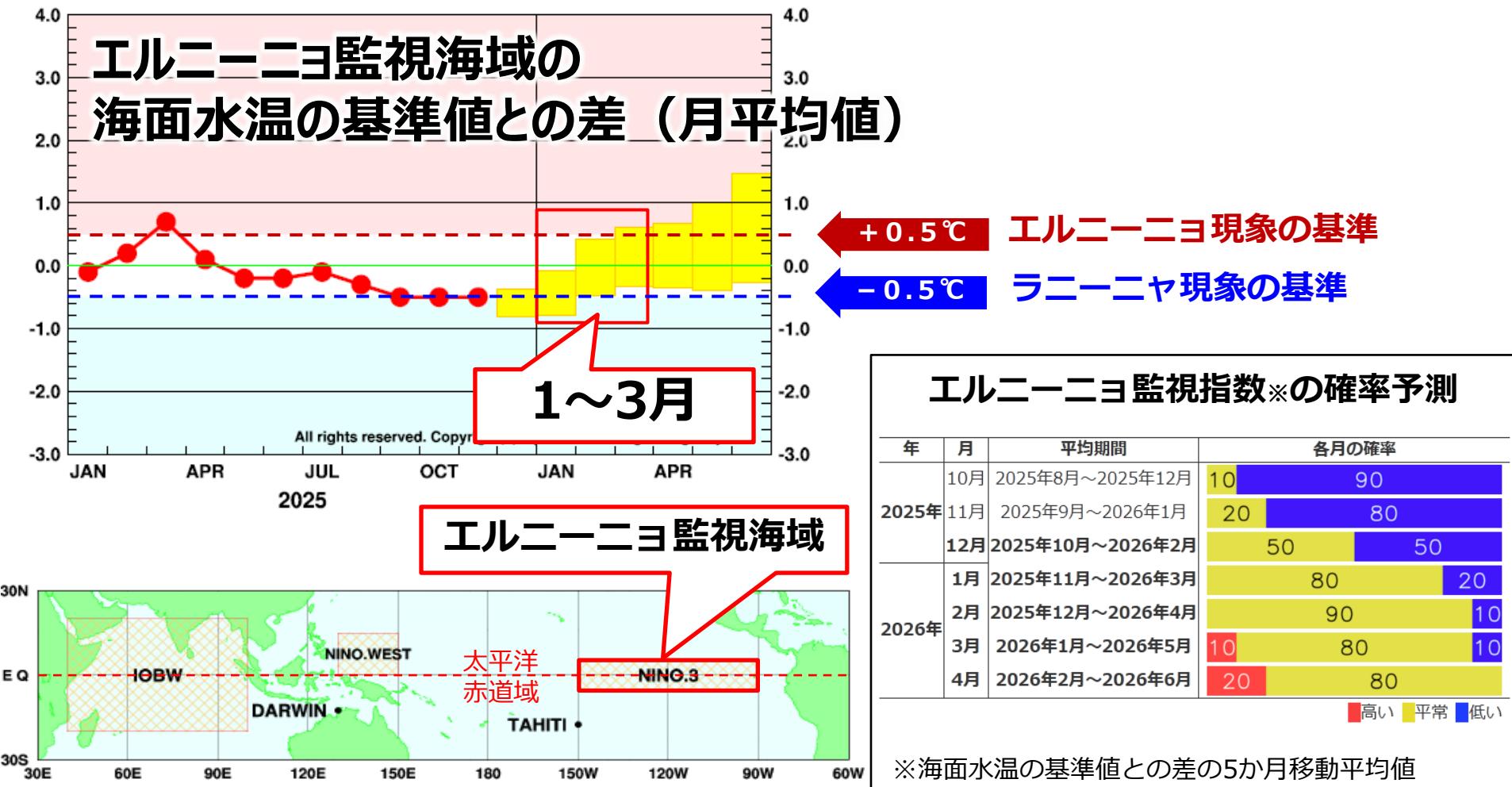


北半球中緯度（北緯30～50度）
対流圏（高さ約1500～10000m） 気温の平年差

平年値の期間：1991～2020年

エルニーニョ/ラニーニャ現象の実況と予測

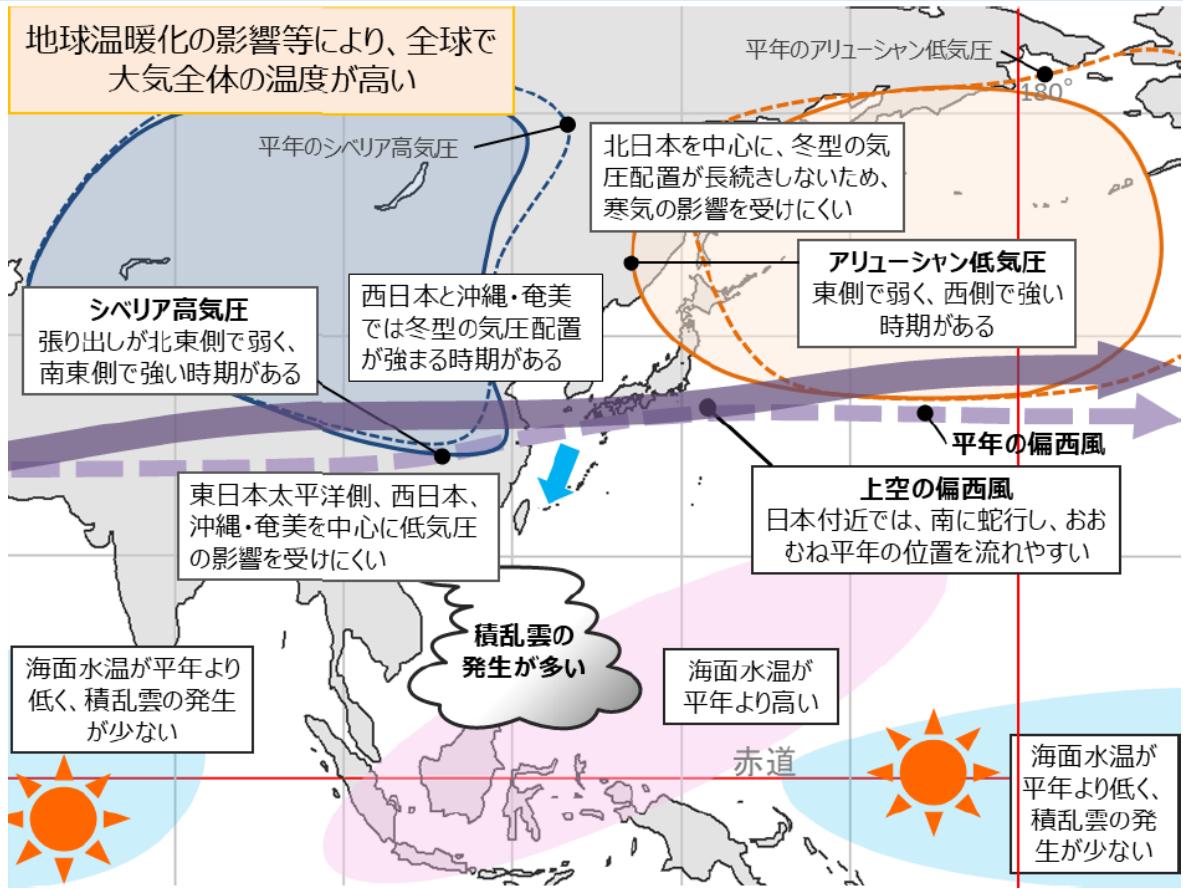
- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態と見られるが、ラニーニャ現象に近い状態となっている。
- 今後、ラニーニャ現象に近い状態は冬の終わりにかけて急速に解消し、ラニーニャ現象の発生には至らず、春にかけて平常の状態が続く可能性が高い（80%）。



1~3月の予想される海洋と大気の特徴

九州北部地方のポイント

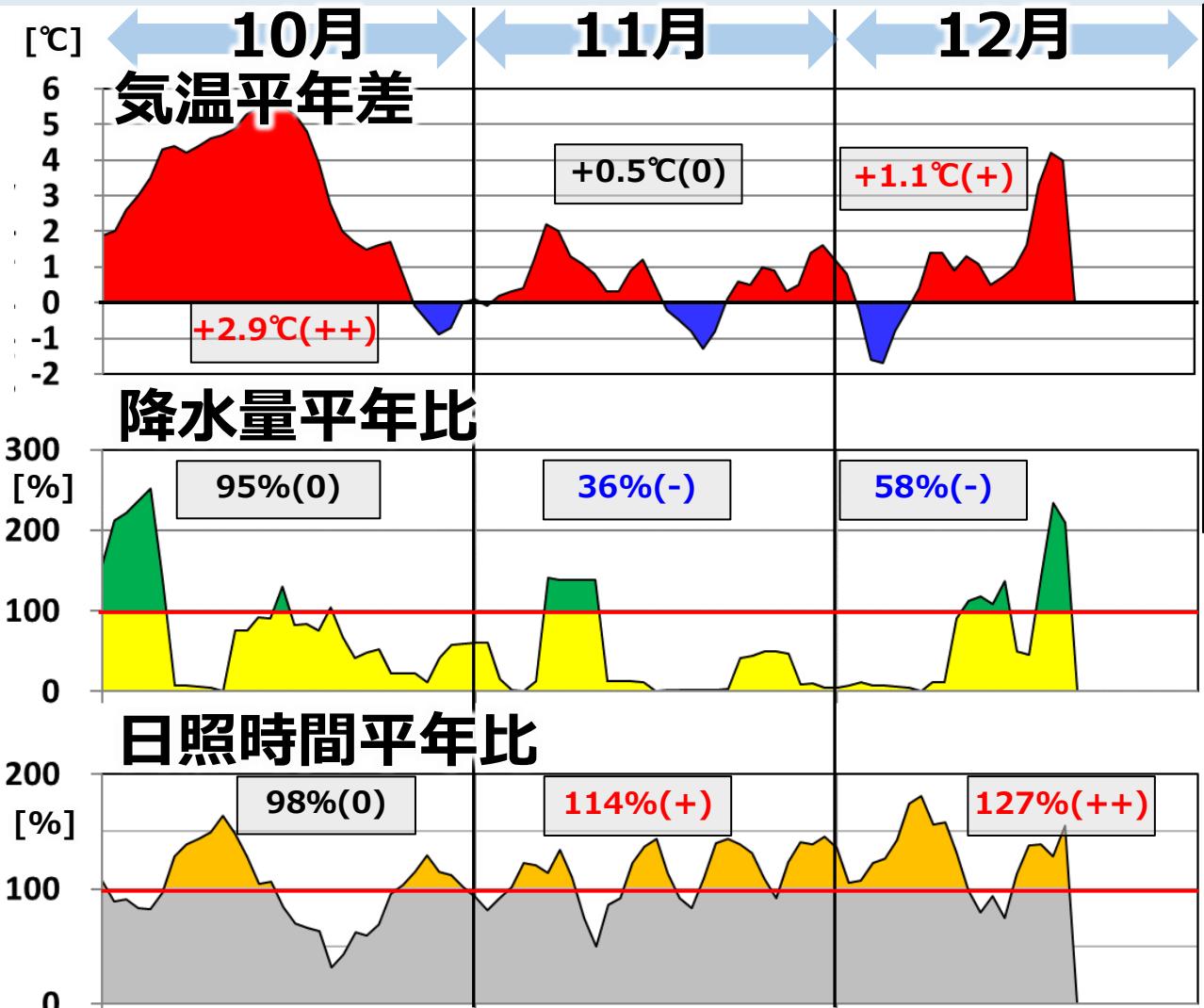
- ・シベリア高気圧の南東側への張り出しがやや強く、**冬型の気圧配置が強く、寒気が流れ込みやすい時期がある。**
- ・また、**低気圧の影響を受けにくい。**



予報の根拠

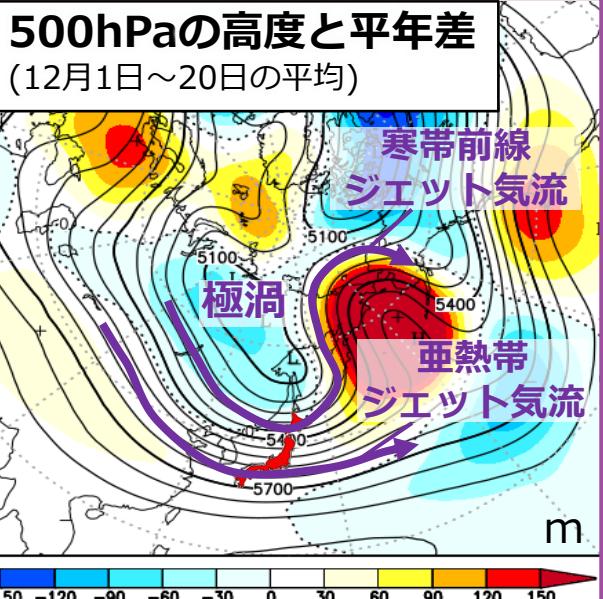
- ・太平洋赤道域西部で海面水温が高く、インドネシアからフィリピン付近にかけて積乱雲の発生が多い。
- ・上空の偏西風はユーラシア大陸東部で北に蛇行、日本付近で南に蛇行するもののおおむね平年の位置を流れる。
- ・地球全体で大気の温度が高い傾向ではあるが、西日本には寒気が流れ込みやすい時期がある。

九州北部地方の天候経過 (10~12月)



(12月の天気概況)

- ・気温は、期間のはじめは寒気の流れ込みで、かなり低い日もあったが、その後は寒気が弱く南から暖かい空気が流れ込む日が多く、平年を上回った。
- ・低気圧や前線の影響で雨の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くかった。降水量は平年を下回り、日照時間は平年を上回った。



階級区分値

- | 区分値 | 意味 |
|------|--------------|
| (++) | かなり高い/かなり多い |
| (+) | 高い/多い |
| (0) | 平年並 |
| (-) | 低い/少ない |
| (--) | かなり低い/かなり少ない |

数値は月平年差 (比) ・階級区分値
12月の値は20日までの暫定値
グラフは5日移動平均値でプロット

日本の東でブロッキング高気圧が発達した影響などにより、日本付近への寒気の流れ込みが弱くなった。

3か月予報のポイントと留意事項

予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は、冬を中心に低気圧の影響を受けにくいため、**少ない**。
- 向こう3か月の気温は、ほぼ平年並。

留意事項

- 降水量が少ないため、火の取り扱いに注意（冬は平年でも降水量が少なく乾燥する時期。強風時は特に注意）。
- 冬型の気圧配置が強まり、寒気が流れ込みやすい時期がある見込みです。一時的に強い寒気が入って雪となる可能性もあります。最新の予報・気象情報等に留意してください。

次回の3か月予報（2～4月）の発表日は、1月20日（火）です

※原則として毎月19～25日の間の
火曜日が発表日

季節予報に関するお問い合わせ先
福岡管区気象台予報課（092-725-3604）

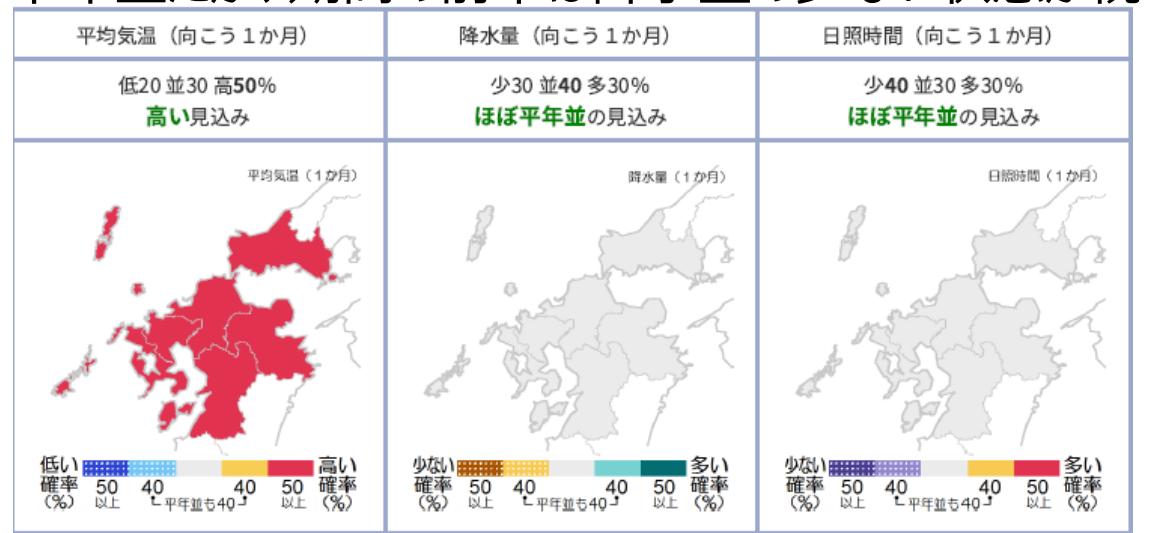
補足資料

【補足資料】最新の九州北部地方の1か月予報

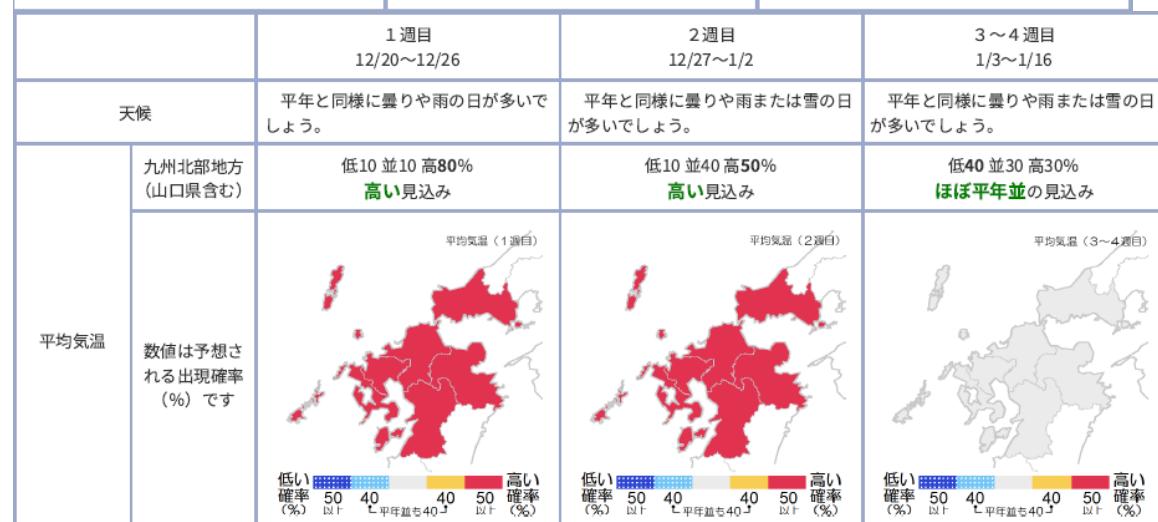
1か月予報（12/18発表）

- 向こう1か月の気温は、寒気の影響を受けにくいため高く、特に期間の前半はかなり高い。
- 向こう1か月の降水量は、ほぼ平年並だが、期間の前半は降水量の少ない状態が続く見込み。

向こう1か月の
気温・降水量・日照時間



週別の天候と気温



【補足資料】福岡県の2週間気温予報（12/23 11時発表）

福岡

日付

福岡
(最高気温)
福岡
(最低気温)

過去の実況
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火

1週目の予報（日別）

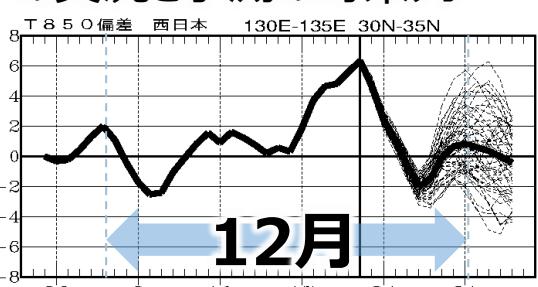
2週目の予報（5日間平均）

	31	1	2	3
水	12	12	11	11
(29~ 2日)	(30~ 3日)	(31~ 4日)	(1~ 5日)	
13.3	15.8	15.0	19.8	23.2
4.7	9.2	6.9	7.4	13.4
			17.0	14.2
			16	14
			7	9
			11	15
			14	14

	31	1	2	3
木	5	5	5	5
(30~ 3日)	(31~ 4日)	(1~ 5日)		
12	12	11	11	
5	5	5	5	



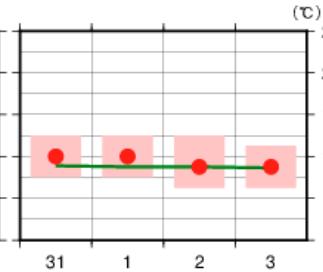
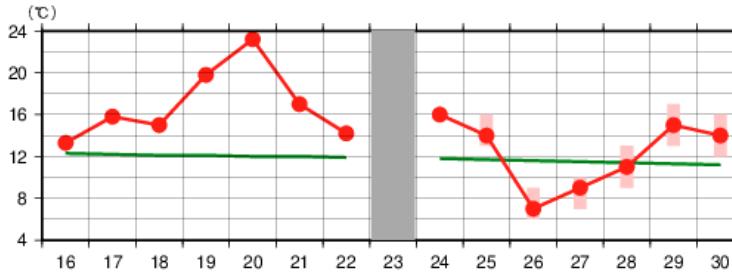
西日本上空の気温平年差の実況と予測の時系列



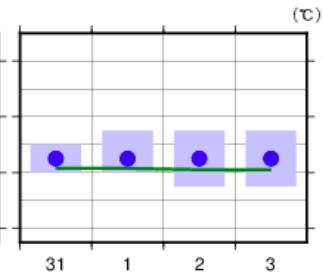
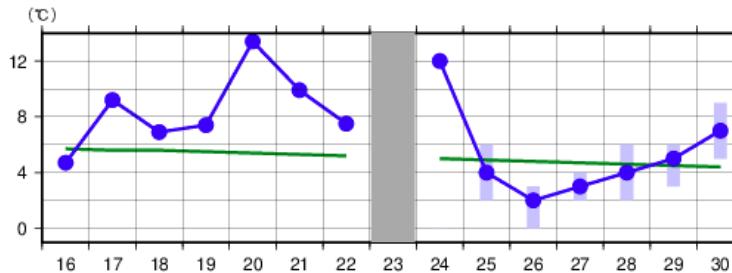
12月

数値予報による今後2週間先までの上空約1500mの5日平均気温予測

福岡
(最高気温)



福岡
(最低気温)



九州北部地方

日付

九州北部地方（山口県を含む）
(平均気温)

過去の実況
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月

1週目の予報（日別）

2週目の予報（5日間平均）

	30	31	1	2	3
火	12	12	11	11	
水	5	5	5	5	
(28~ 1日)	(29~ 2日)	(30~ 3日)	(31~ 4日)	(1~ 5日)	
12	12	11	11		
5	5	5	5		

	30	31	1	2	3
木	5	5	5	5	
金	5	5	5	5	
(30~ 3日)	(31~ 4日)	(1~ 5日)			
5	5	5	5		

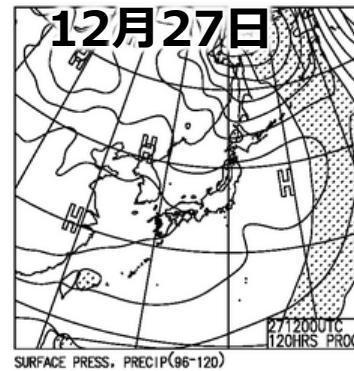
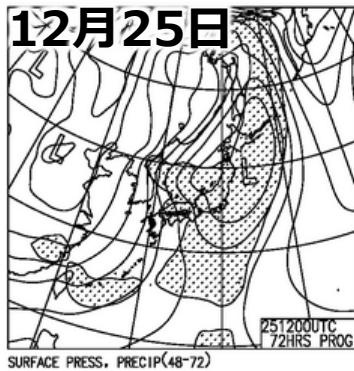


2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/?fuk=82>

2週間気温予報（各種時系列） https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/longfcst/fax/fcvx24_12.png

【補足】福岡県の週間天気予報と予想天気図（12/23 11時発表）

福岡県の天気予報（7日先まで）								
2025年12月23日11時 福岡管区気象台 発表								
日付	今日 23日(火)	明日 24日(水)	明後日 25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)
福岡県	晴後曇 	雨時々止む 	曇一時雨 	曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 
降水確率(%)	-/-10/10	50/80/70/60	60	30	20	20	30	40
信頼度	-	-	-	A	A	A	A	B
福岡 気温 (°C)	最高 18	16	14 (13~16)	7 (6~9)	9 (7~10)	11 (9~13)	15 (13~17)	14 (12~16)
	最低 -	12	4 (2~6)	2 (0~3)	3 (2~4)	4 (2~6)	5 (3~6)	7 (5~9)



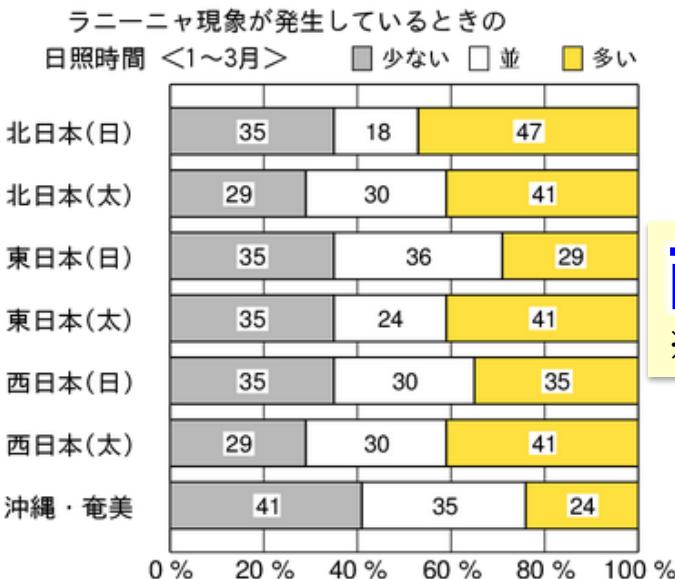
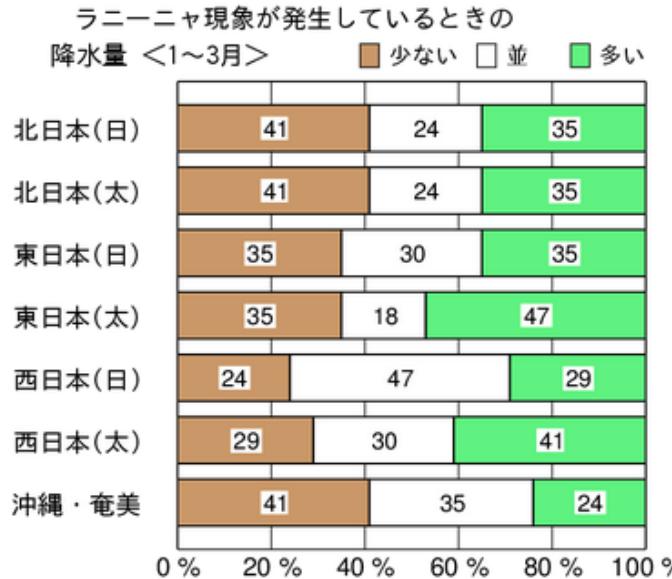
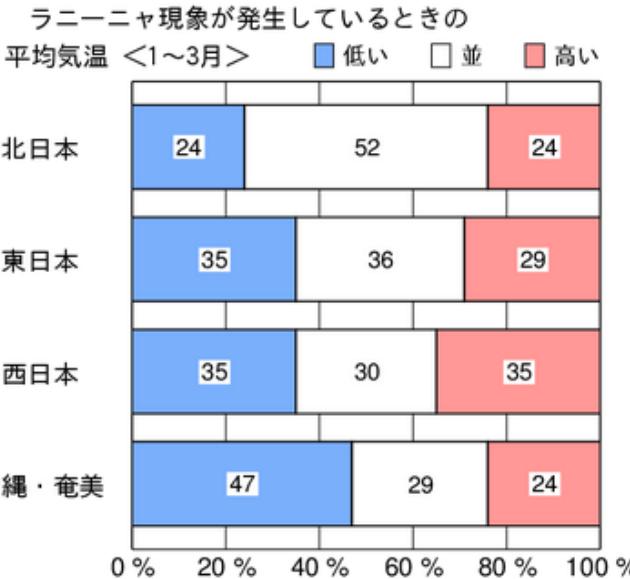
天気予報 https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/#area_type=offices&area_code=400000

予想天気図（週間） <https://www.jma.go.jp/bosai/numericmap/data/nwpmap/fefe19.png>

【補足資料】ラニーニャ現象発生時の統計

平均気温・降水量・日照時間の出現率[%]

1~3月



西日本は有意な傾向なし

※統計的に有意な傾向がある場合は、地域名に赤い帯、棒グラフに太黒枠を示す。

気象庁ホームページ

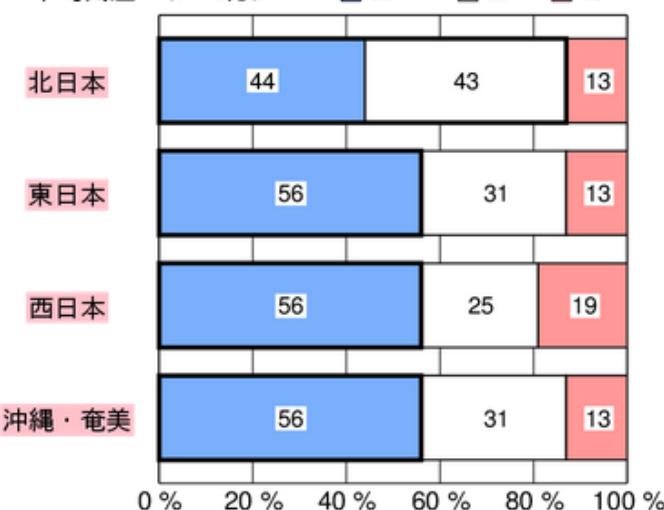
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/data/elnino/learning/tenkou/nihon1.html>

【補足資料】西太平洋熱帯域の海面水温高温時の統計

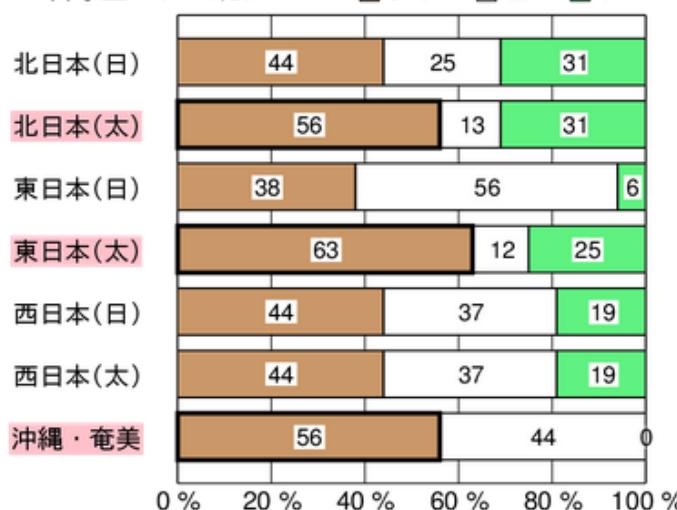
平均気温・降水量・日照時間の出現率[%]

1~3月

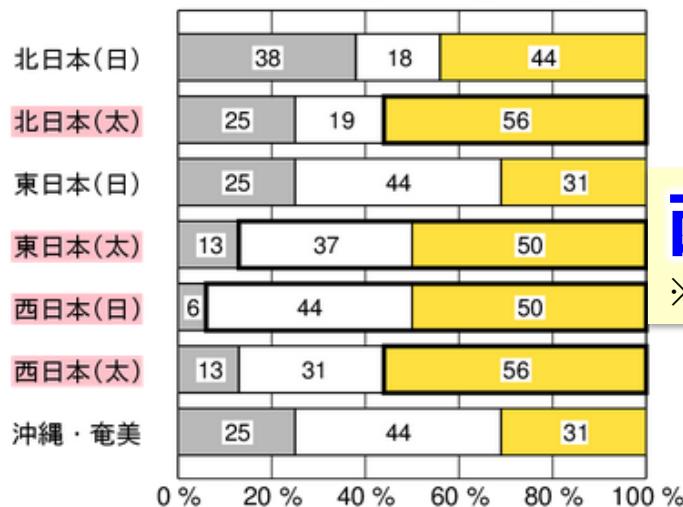
西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
平均気温 <1~3月> ■ 低い □ 並 ■ 高い



西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
降水量 <1~3月> ■ 少ない □ 並 ■ 多い



西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
日照時間 <1~3月> ■ 少ない □ 並 ■ 多い



西日本は低温・多照となる傾向

※統計的に有意な傾向がある場合は、地域名に赤い帯、棒グラフに太黒枠を示す。

気象庁ホームページ

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/data/elnino/learning/tenkou/nihon1.html>

【参考】九州北部地方の平年の天候経過 (1~3月)

1月~3月 平年の天候

平年値の期間
1991~2020年

12月

1月
冬

2月

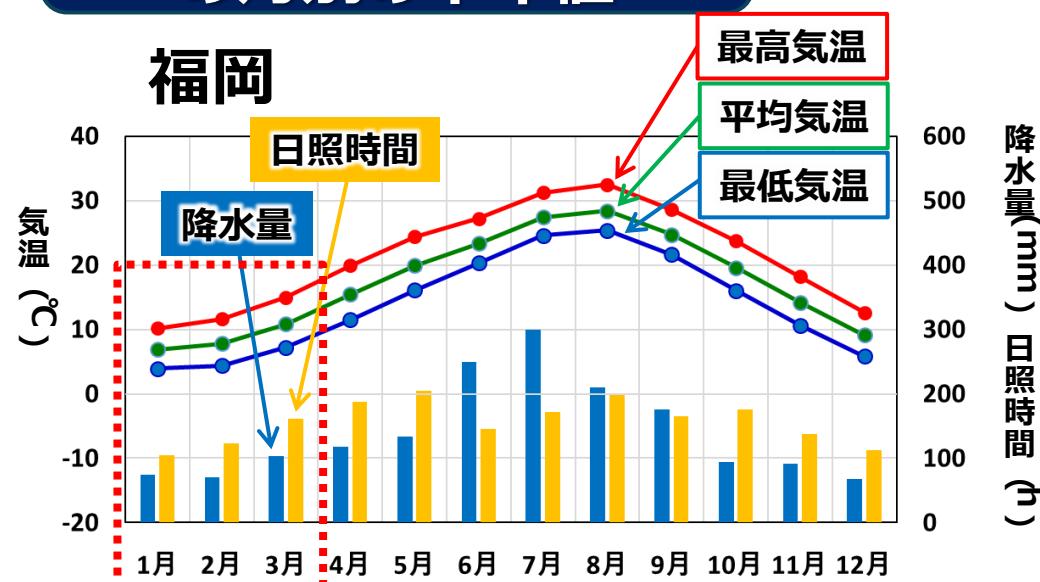
3月
春

曇りや雨または雪の日が多い
※大分は晴れの日が多い

天気は数日の
周期で変わる

気温・降水量・日照時間 の月別の平年値

福岡



1~3月のポイント

- 1~2月は日照時間が少ない
(福岡など九州北岸部に位置する地域)
- 3月は高気圧や低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気が変わる天候

【補足資料】林野火災予防のための新たな取組の開始

- 令和7年2月26日に岩手県大船渡市において発生した大規模な林野火災を受け、消防庁及び林野庁は「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今後取り組むべき火災予防のあり方等について検討を行い、8月に報告書を取りまとめました。
- 本報告書を受け、気象庁は消防庁及び林野庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。

令和6～7年冬の少雨について

- 令和6～7年の冬は、東日本から西日本の太平洋側で降水量が少なく、統計を開始した昭和21～22年の冬以降で1位の少雨となった。
- 記録的な少雨となった地域で大規模な林野火災が発生した。

期間降水量(平年比)の分布 [R6.12～R7.2]



令和7年の主な林野火災事例 (ha)

No	出火日	市町村	焼損面積
①	2/19	岩手県大船渡市	324
②	2/26	岩手県大船渡市	3,370
③	2/26	山梨県大月市	107
④	3/23	岡山県岡山市・玉野市	486
⑤	3/23	愛媛県今治市・西条市	482
⑥	3/23	熊本県南阿蘇村	220

※ 焼損面積 3,370haは昭和39年以降で最大

検討会において
対策を検討

令和8年1月～

① 「少雨に関する気象情報」を利用した林野火災への注意喚起 [運用期間：1月～5月]

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

② 臨時の記者会見の開催 [運用期間：1月～5月]

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

③ 林野火災予防ポータルサイトの開設 [12/17公開]

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

④ SNS等による情報発信の強化 [随時]

記録的な少雨時や林野火災の多発時にX(旧Twitter)等を通じた注意喚起を行います。

少雨に関する気象情報
令和x年x月x日 OO管区気象台 発表

OO地方では、1月中旬から降水量の少ない状態が続き、記録的な少雨となっています。

記録的な少雨になった令和7年には、冬から春にかけて大規模な林野火災が多く発生しました。火の取り扱いに十分注意してください。

(気象情報の例)

林野火災予防ポータルサイト

現在の気象状況

気象庁HPで林野火災予防ポータルサイトの最新情報を確認することができます。
1. 気象庁HPへ
2. 気象庁HPの「林野火災予防ポータルサイト」をクリック
3. 「最新情報」を確認する
4. 「最新情報」を確認する

